

2017年11月

## 「ソフトウェアメトリックス調査2018<sup>1</sup>」ご協力をお願い (開発・保守・運用調査)

一般社団法人 日本情報システム・ユーザー協会 (JUAS)

平素より、弊協会活動につきまして格別のご協力を賜り厚くお礼申し上げます。

JUASでは本年度も「ソフトウェアメトリックス調査」を実施することとなりました。

ぜひ皆様には回答のご協力を賜りたく、下記の通りご案内申し上げます。

### 1. 調査の目的と意義

JUASでは、システムの品質向上、開発・保守・運用の効率化を目指していただくための一助として、2004年よりITユーザー企業から開発・保守・運用プロジェクトの実態を収集し「ユーザー企業 ソフトウェアメトリックス調査報告書」としてまとめてきました。今年で13年目となり、調査結果をご報告することで、日本のシステム開発や運用に対してある一定の指標(KPI)を示すことができたと考えております。

開発・保守調査につきましては、従来の「作業の自動化・効率化」を目的としたシステム開発であった時代から大きく環境が変わり、システム開発の目的、手法、環境が多様化し、それにあわせてユーザー企業として注視すべき評価指標も大きく変わってきています。JUASでは、「ソフトウェアメトリックス調査プロジェクト(開発・保守)」を時代に合わせたものにすべく、会員企業から参加いただいたメンバーの方と議論を進めてまいりました。従来の基本的な調査項目を継続しつつ、新たな調査領域にも挑戦する内容となっております。

一方、運用調査につきましては、一昨年から調査内容を一新してIT運用コストのベンチマークを形成していくことを目的に調査しております。今年度もコスト分類の標準モデルや評価指標の定着・確立を目指して実施してまいります。

回答企業の皆さまにおかれましては、調査項目の変更によりさらにお手数おかけすることもあるかと存じますが、ぜひご協力を賜りますようお願い申し上げます。

ご回答にあたり、「開発」「保守」「運用」に分けて調査票・回答票を作成しております。それぞれ、開発管理部門、保守管理部門、運用コスト管理部門、の方にご記入いただきますようお願いいたします。JUASへの回答送付は、とりまとめていただいても結構です。

調査にご協力いただいた企業には、2018年4月予定の調査報告会へのご招待するとともに調査報告書を提供いたします。自社データと比較するなど課題把握、解決にご活用ください。

---

<sup>1</sup>調査期間は、2017.11~2017.12で実施いたしますが、報告書の発表は2018年4月度調査の結果となるため2018年の称号を使わせていただいております。

尚、本調査につきましては、企業名、プロジェクト名は全て J U A S 事務局にてマスクされ、分析者はもとより、各機関にも公表されることはございません。

## 2. 回答内容の取り扱いおよび機密保持について

本作業にて取り扱うデータにつきましては、ご回答いただきました個別実績データおよびその分析中間物や最終成果物等のデータ種別毎に機密レベルを設定し、それに則った取り扱いを行います。

個別実績データにつきましては、機密レベル規定に則って守秘義務契約を締結したうえで、契約上の特定者のみ取り扱いを可能とすることといたします。従いまして個別実績のデータが外部に漏れることは決してございません。

なお別途、機密保持誓約書が必要となる企業の方は、お問合せ先までご連絡下さい。

## 3. 調査票記入上の注意点

### <開発調査票>

#### 1) 開発調査票の構成

1. プロジェクトの概要
2. 要件定義
3. 設計～統合（結合）テスト
4. ユーザー総合テスト

#### 2) 開発回答対象プロジェクト

開発調査票は、設計・開発・テスト等、開発プロジェクトにおける主要フェーズ別の工期・工数等のデータを収集することを主な目的のひとつと位置付けております。従って、上記データがある程度別々に取得できる規模および形態の開発プロジェクトを想定しております。具体的には、

- ・ 過去3年以内に開発が完了
- ・ 開発コストが概ね 500万円以上のプロジェクト
- ・ 新規開発または再開発・改修プロジェクト  
(システム保守プロジェクトやマイナーチェンジの改修プロジェクトを除く)のプロジェクトに関してご回答をお願いいたします。

自社の新規開発プロジェクトの主要なものをお答えください。例えば、(新規開発予算の総額1割以上の案件など)。

#### 3) 調査票結果は、以下を目的に分析を計画しております

- ・ システムの規模・工期・工数とその他の要因の関連性を分析し定量的指標を確立する
- ・ プロジェクト推進に関する指標と上記指標との関連性を分析する
- ・ その他項目間の関連性を分析する

### <保守調査票>

1) 保守調査票の構成

第一部 保守調査 全社

第二部 保守調査 システム保守・保守プロジェクト

2) 保守回答対象

第一部については、各社ごとにひとつ（グループ企業含むなど保守を管理している単位で構いません）、回答をお願いします。

第二部については、システムごと、あるいは保守プロジェクトごとに、多くの回答をお願いします。

3) 調査票記入にあたってのお願い

すべての項目をご記入いただくことが理想ではありますが、過去の記録が残っていない場合には該当質問への答えは空欄のままで結構です。

## ＜運用調査票＞

1) 運用調査票の構成

Q1 企業プロフィール

Q2 運用・保守役務系コスト

Q3 運用設備系コストと設備規模

Q4 システム運用の現状

Q5 運用コストの適正化実施状況

Q6 その他

2) 運用回答対象

- ・ 運用コスト管理部門の方にご回答お願いいたします。
- ・ 1社1回答（総数・総額）でお願いいたします
- ・ 本調査では、可能な限り対象組織の IT 活用の中で整合の取れた金額や数量をお答えいただくことを期待しております。例えばグループ企業の場合は、グループ全体で保有する機器、要員、コスト等であり、独立企業の場合は、企業全体での機器、要員、コスト等になります。特にグループ企業の子会社の場合、この判断が難しくなりますが、可能であればグループ全体を見た数量を、困難であれば貴社の所掌する範囲の中で整合の取れた数量を回答いただけますと幸いです。
- ・ また、窓口のご担当には、このような主旨で回答いただけるとご担当に調査票を回付いただきますよう、よろしくお願いいたします。

#### 4. 調査票の回答手順及び回答期限

同時に添付した EXCEL ファイル（回答票）に記入いただき、

1 次締切：2017 年 12 月 13 日（水）

最終締切：2017 年 12 月 20 日（水）

まで（swm-juas@juas.or.jp）宛にメールにてご返信をお願い致します。

#### 5. 2018 年版 調査資料一式

＜ご返信頂くファイル＞

資料 3：ソフトウェアメトリックス調査（開発回答票）2018（EXCEL）

資料 5-1：ソフトウェアメトリックス調査（保守回答票-全社）2018（EXCEL）

資料 5-2：ソフトウェアメトリックス調査（保守回答票-システム保守・保守 PJ）2018（EXCEL）

資料 7：ソフトウェアメトリックス調査（運用回答票）2018（EXCEL）

＜ご回答いただく際に参照していただくファイル＞

資料 1：ソフトウェアメトリックス調査 2018 ご協力をお願い（PDF）

資料 2：ソフトウェアメトリックス調査（開発調査票）2018（PDF）

資料 4-1：ソフトウェアメトリックス調査（保守調査票-全社）2018（PDF）

資料 4-2：ソフトウェアメトリックス調査（保守調査票-システム保守・保守 PJ）2018（PDF）

資料 6：ソフトウェアメトリックス調査（運用調査票）2018（PDF）

#### 6. ご報告

ご回答いただきました企業には、J U A S でまとめた調査結果報告書を 2018 年 5 月頃に送付させていただきます。なお、2018 年 4 月に開催予定の本調査報告会にご招待いたします。

#### 7. 補足事項

当業務を担当する J U A S は、貴社の個別のご回答内容を外部に漏らすことは決してございません。守秘義務誓約書の内容をご確認頂き、なるべく多くの設問にご回答頂けますようお願い致します。

#### 【本件の詳細およびファイルの入手方法】

下記、HP より調査資料一式がダウンロード可能です。

<http://www.juas.or.jp/activities/research/swm/>

#### 【本件に関するお問い合わせ】

メールアドレス：swm-juas@juas.or.jp

電話：03-3249-4102

担当：五十井・井上

※メールにてお問い合わせ願います。

以上